

## 平成22年3月期 第1四半期決算短信

平成21年8月5日

上場会社名 ダイコク電機株式会社  
 コード番号 6430 URL <http://www.daikoku.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役総務セクタ長  
 四半期報告書提出予定日 平成21年8月14日  
 配当支払開始予定日 —

上場取引所 東 名

(氏名) 栢森 雅勝

(氏名) 山下 陽

TEL 0568-88-7111

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成22年3月期第1四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年6月30日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第1四半期	14,413	21.2	1,756	59.1	1,827	59.5	971	73.1
21年3月期第1四半期	11,896	—	1,103	—	1,145	—	560	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第1四半期	65.69	—
21年3月期第1四半期	37.94	—

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第1四半期	53,325	26,150	49.0	1,765.77
21年3月期	55,546	26,060	46.8	1,759.92

(参考) 自己資本 22年3月期第1四半期 26,104百万円 21年3月期 26,018百万円

## 2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	10.00	—	60.00	70.00
22年3月期	—				
22年3月期(予想)		10.00	—	30.00	40.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

## 3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期連結累計期間	27,000	33.5	2,400	51.6	2,500	50.6	1,100	50.9	74.40
通期	46,600	△10.9	2,600	△45.8	2,700	△45.9	1,200	△65.9	81.17

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 有

#### 4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注)詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 無

② ①以外の変更 無

(注)詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	22年3月期第1四半期	14,783,900株	21年3月期	14,783,900株
② 期末自己株式数	22年3月期第1四半期	196株	21年3月期	196株
③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間)	22年3月期第1四半期	14,783,704株	21年3月期第1四半期	14,783,710株

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件等については、4ページ【定性的情報・財務諸表等】3. 連結業績予想に関する定性的情報をご覧ください。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間におけるわが国経済は、輸出や生産に持ち直しの兆しが見られるものの、依然として厳しい状況が続いております。

当社グループが携わるパチンコ業界におきましては、パチンコホールでは1円パチンコ等の低貸玉営業が浸透し、またファンも増加に転じたことから、ホールの収益状況は安定しております。

このような市場環境のなか、情報システム事業におきましては、2月に投入した新製品の台毎計数システム「楽pass」、情報公開機器「BiGMO」を中心に業績は順調に推移しております。制御システム事業におきましては、当社が開発、製造に関わった機種が計画どおりに市場に投入されました。アミューズメントコンテンツ事業におきましては、コンシューマゲームでは、受託開発したゲームが高い評価を得ることができ、携帯電話ゲームでは、開発内容の見直しにより、開発効率の追求を行いました。

この結果、当第1四半期連結会計期間の業績は、売上高144億13百万円（前年同四半期比21.2%増）、営業利益17億56百万円（同59.1%増）、経常利益18億27百万円（同59.5%増）、四半期純利益9億71百万円（同73.1%増）となりました。

事業の種類別セグメントの業績は次のとおりであります。

（情報システム事業）

当事業の第1四半期連結会計期間は、新製品の「楽pass」「BiGMO」「IL-A2」が市場で高い評価を受け順調に納入が進みました。また、4月より新たな取り組みとして、MIRRAIGATEネットワークを活用した、パートナーズセンタを開設いたしました。そこで迅速かつ確かなメンテナンスに対応するためのメンテナンスデスクと、ホールコンピューティングシステム「CII」を有効活用するための支援窓口となるCIIデスクを開始することで、ホール支援サービスの強化に努めました。

この結果、当事業の売上高は63億34百万円（同31.3%増）、営業利益は13億9百万円（同144.6%増）となりました。

（制御システム事業）

当事業の第1四半期連結会計期間は、当社が開発、製造に関わった機種が計画どおりに市場に投入されたことにより製品販売は53億54百万円（同15.6%増）、商品販売はモーター等の増加により24億32百万円（同17.8%増）となりました。

この結果、当事業の売上高は77億87百万円（同16.3%増）、営業利益は10億4百万円（同17.2%減）となりました。

（アミューズメントコンテンツ事業）

コンシューマゲームは、受託中心の開発を行っており、海外メーカーから受注したゲームソフトが、北米のゲームショウであるE3の大賞にノミネートされる等、高い評価を受けました。

この結果、当事業の売上高は2億94百万円（同21.5%減）、営業損失は35百万円（同48.4%減）と前年同期に対し改善されました。

（注）事業の種類別セグメントの業績の金額には、セグメント間取引が含まれております。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

資産、負債及び純資産の状況

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ22億20百万円減少の533億25百万円となりました。

流動資産では、売上債権の資金化により現金及び預金が増加しましたが、前連結会計年度の第4四半期における売上計上が、当第1四半期連結会計期間より多かったこととともない受取手形及び売掛金が減少した結果、前連結会計年度末に比べ17億4百万円減少の382億26百万円となりました。

固定資産では、主に大きな取得がなかったことにより前連結会計年度末に比べ5億15百万円減少の150億98百万円となりました。

負債では、保守契約による前受金が増加しましたが、前連結会計年度の第4四半期における仕入計上が当第1四半期より多かったこととともない支払手形及び買掛金の減少と、借入金の返済があった結果、前連結会計年度末に比べ23億11百万円減少の271億74百万円となりました。

純資産では主に利益剰余金の増加により前連結会計年度末に比べ90百万円増加の261億50百万円となりました。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

平成21年5月14日に公表いたしました第2四半期の業績予想を修正いたしました。詳細につきましては本日別途開示いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

なお、通期の業績予想につきましては、予想数値に変更はありません。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

5. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第1四半期 連結会計期間末 (平成21年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	18,830,494	15,658,564
受取手形及び売掛金	11,819,502	16,771,079
商品及び製品	3,442,321	2,879,169
仕掛品	817,796	962,721
原材料及び貯蔵品	2,658,001	3,020,267
繰延税金資産	287,441	134,512
その他	419,068	564,651
貸倒引当金	△47,741	△59,329
流動資産合計	38,226,884	39,931,636
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,978,874	3,024,719
機械装置及び運搬具(純額)	117,681	124,344
工具、器具及び備品(純額)	1,083,345	1,245,072
土地	2,506,456	2,506,956
建設仮勘定	6,530	4,780
有形固定資産合計	6,692,889	6,905,873
無形固定資産		
ソフトウェア	1,187,528	1,271,543
その他	40,219	40,567
無形固定資産合計	1,227,748	1,312,110
投資その他の資産		
投資有価証券	258,037	253,312
繰延税金資産	1,385,000	1,590,844
投資不動産(純額)	2,806,632	2,804,111
長期預金	1,400,000	1,400,000
保険積立金	374,156	374,156
会員権	561,955	563,955
敷金及び保証金	527,295	527,828
その他	87,472	88,310
貸倒引当金	△222,644	△206,197
投資その他の資産合計	7,177,905	7,396,322
固定資産合計	15,098,542	15,614,305
繰延資産	102	136
資産合計	53,325,529	55,546,079

(単位：千円)

	当第1四半期 連結会計期間末 (平成21年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	16,915,914	18,949,027
短期借入金	4,774,990	5,084,992
1年内返済予定の長期借入金	400,000	400,000
未払金	676,206	851,615
未払費用	965,982	784,197
未払法人税等	788,663	914,025
前受金	551,186	79,771
役員賞与引当金	82,678	167,116
その他	438,889	580,606
流動負債合計	25,594,511	27,811,353
固定負債		
長期借入金	1,100,000	1,200,000
退職給付引当金	31,519	32,163
役員退職慰労引当金	266,191	257,746
その他	182,562	184,708
固定負債合計	1,580,272	1,674,618
負債合計	27,174,784	29,485,972
純資産の部		
株主資本		
資本金	674,000	674,000
資本剰余金	680,008	680,008
利益剰余金	24,744,956	24,660,873
自己株式	△491	△491
株主資本合計	26,098,473	26,014,391
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	6,160	3,790
評価・換算差額等合計	6,160	3,790
少数株主持分	46,110	41,925
純資産合計	26,150,745	26,060,106
負債純資産合計	53,325,529	55,546,079

(2) 四半期連結損益計算書  
第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)
売上高	11,896,459	14,413,032
売上原価	7,939,796	9,887,660
売上総利益	3,956,662	4,525,371
延払販売未実現利益控除	—	—
延払販売未実現利益戻入	4,373	3,788
差引売上総利益	3,961,036	4,529,159
販売費及び一般管理費	2,857,143	2,772,515
営業利益	1,103,892	1,756,644
営業外収益		
受取利息	3,895	4,495
受取配当金	2,874	5,376
受取ロイヤリティー	20,719	21,087
不動産賃貸料	26,791	25,880
持分法による投資利益	—	741
その他	25,554	50,388
営業外収益合計	79,834	107,970
営業外費用		
支払利息	24,680	17,899
持分法による投資損失	1,402	—
貸倒引当金繰入額	1,971	—
その他	10,071	18,992
営業外費用合計	38,126	36,891
経常利益	1,145,601	1,827,722
特別利益		
投資有価証券売却益	6,000	—
貸倒引当金戻入額	—	9,024
前期損益修正益	16,183	—
特別利益合計	22,183	9,024
特別損失		
固定資産売却損	—	2,476
固定資産除却損	4,663	6,048
投資有価証券評価損	10,747	—
貸倒引当金繰入額	—	16,000
その他	909	2,000
特別損失合計	16,320	26,525
税金等調整前四半期純利益	1,151,464	1,810,221
法人税、住民税及び事業税	909,092	783,629
法人税等調整額	△305,151	51,302
法人税等合計	603,940	834,931
少数株主利益又は少数株主損失(△)	△13,430	4,185
四半期純利益	560,954	971,104

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間（自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日）

	情報システム事業 (千円)	制御システム事業 (千円)	アミューズメント コンテンツ事業 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高						
(1)外部顧客に対する 売上高	4,824,380	6,697,544	374,534	11,896,459	—	11,896,459
(2)セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	4,824,380	6,697,544	374,534	11,896,459	—	11,896,459
営業利益又は 営業損失(△)	535,376	1,212,241	△69,172	1,678,444	(574,552)	1,103,892

(注) 1 事業の区分は、内部管理上採用している区分によっております。

2 各区分の主な製品

(1) 情報システム事業

ホールコンピュータ、景品顧客管理システム、情報公開システム、工事収入等

(2) 制御システム事業

表示ユニット、制御ユニット、遊技機に使用される部品等

(3) アミューズメントコンテンツ事業

アミューズメント関連ソフト等

3 会計方針の変更

(1) 重要な資産の評価基準及び評価方法の変更

たな卸資産

通常の販売目的で保有するたな卸資産については、従来、主として総平均法による原価法によっておりましたが、第1四半期連結会計期間より「棚卸資産の評価に関する会計基準」（企業会計基準第9号 平成18年7月5日）が適用されたことに伴い、主として総平均法による原価法（貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切下げの方法）により算定しております。

これにより、当第1四半期連結会計期間の営業利益が、情報システム事業で5,984千円、制御システム事業で61,861千円それぞれ減少しております。

(2) 受注制作のソフトウェアの売上高及び売上原価の計上基準の変更

受注制作のソフトウェアに係る収益の計上基準については、従来、検収基準を適用しておりましたが、「工事契約に関する会計基準」（企業会計基準第15号 平成19年12月27日）及び「工事契約に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第18号 平成19年12月27日）が平成21年4月1日より前に開始する連結会計年度から適用できることになったことに伴い、第1四半期連結会計期間からこれらの会計基準等を適用し、当第1四半期連結会計期間末までの進捗部分について成果の確実性が認められる受注契約については工事進行基準（工事進捗率の見積もりは原価比例法）を、その他の受注契約については検収基準を適用しております。

これにより、アミューズメントコンテンツ事業で、当第1四半期連結会計期間の営業利益が58,858千円増加しております。



当第1四半期連結累計期間（自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日）

	情報システム事業 (千円)	制御システム事業 (千円)	アミューズメント コンテンツ事業 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高						
(1)外部顧客に対する 売上高	6,332,134	7,787,543	293,353	14,413,032	—	14,413,032
(2)セグメント間の内部 売上高又は振替高	2,672	—	761	3,434	(3,434)	—
計	6,334,806	7,787,543	294,115	14,416,466	(3,434)	14,413,032
営業利益又は 営業損失(△)	1,309,378	1,004,117	△35,713	2,277,782	(521,138)	1,756,644

(注) 1 事業の区分は、内部管理上採用している区分によっております。

2 各区分の主な製品

(1) 情報システム事業

ホールコンピュータ、景品顧客管理システム、情報公開システム、工事収入等

(2) 制御システム事業

表示ユニット、制御ユニット、遊技機に使用される部品等

(3) アミューズメントコンテンツ事業

アミューズメント関連ソフト等

#### 【所在地別セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間（自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日）

在外連結子会社及び在外支店がないため、所在地別セグメント情報の記載を省略しております。

当第1四半期連結累計期間（自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日）

在外連結子会社及び在外支店がないため、所在地別セグメント情報の記載を省略しております。

#### 【海外売上高】

前第1四半期連結累計期間（自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日）

海外売上高が連結売上高の10%未満のため、海外売上高の記載を省略しております。

当第1四半期連結累計期間（自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日）

海外売上高が連結売上高の10%未満のため、海外売上高の記載を省略しております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。